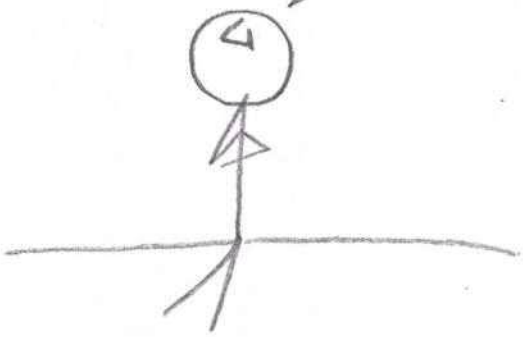
死んだら
その後は？



恵庭市立恵明中学校

2-1 佐川 睦日

おっと！これはこれははじめまして。
この本を手にとり，さらに表紙まで
めくってくださるなんて！
どうもありがとうございます。
この本は，「死んだあと」をテーマに
天国や地獄，死後の世界といった
非科学的なことについて，少し
まじめに考え，調べたことが
書いてあります。
ところどころこんな風に鉛筆で
文字が書いてあったり，おかしな
言葉使いで書いてあるページが
あります。
ただの中学生の自由研究ですので
みのがしてください。すみません。
それから，ここに書いてあることは
私が調べ，考えて書いたことです。
間違っているところや，一方的な
見方をしているところ，要約することが
下手で，長々と書いているところも
あります。
色々と不快にさせてしまうかもしれません。
それでも良いよと思ってくださる方は，
どうぞ最後まで読んでくれると
嬉しいです！

目次

そもそも「死ぬ」とは P.3～
死後の肉体はどうなるのか P.5～
死んだ人はどうなるのだろう P.7～
キリスト教の死後の世界 P.8～
仏教の死後の世界 P.11～
イスラム教の死後の世界 P.13～
日本の死後の世界 P.14～
色々な死後の世界 P.15～
死後の世界を見た人々 P.16～
まとめ P.22～
参考・引用文献 P.26～
画像・イラスト参考・引用 P.30～

ひもとテープだけで
止めてるので
ページがずれたり
抜けたりします！
すみません！

ムレ

そもそも「死ぬ」とは

・言葉の意味

し・ぬ【死ぬ】生物としての活動が止まる
いきいきとしていない
役に立たない
価値がない
野球でアウトになる

・生物としての活動が止まる

何か外的作用・内的作用が
体に加わると、

体はバランスを保とうと、
あらゆる反応システムを作動

加わった力が大きすぎると
バランス維持の限界を超える

生命活動が破綻し、
完全に停止する

この状態を「死」という

人の死は医師が認定する。
医師が死と認める基準は三つ

・呼吸機能停止
自発呼吸が行われていない
意識の低下

・循環停止
どの動脈も脈拍なし
心拍動停止
（心臓が血液を送り出す運動）
血圧ゼロ

・中枢神経機能停止
（脳とから発信された指令を伝え、体の各部
からの情報を脳に伝えて体内機能を調節する働き）
意識なし
刺激反応性なし
瞳孔散大

これらのうちどれか1つが停止すると、他2つも短時間で止まる。

この状態が15～30分続くと、「死」と認定される。

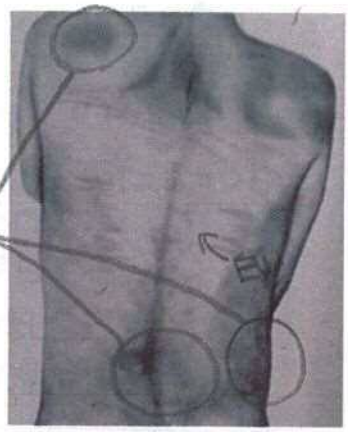
死後の肉体はどうなるのか

死後の肉体とは、文字通り死んだ後の生物の肉体、つまり死体。私たち人間の死体には、どんな変化がおこるのだろう。

放置すると

(1)死斑が現れる

死ぬと血液の循環が止まる。循環できなくなった血は、体の低い位置に集まる。溜まった血液は痣のような褐色に見える。これが死斑。

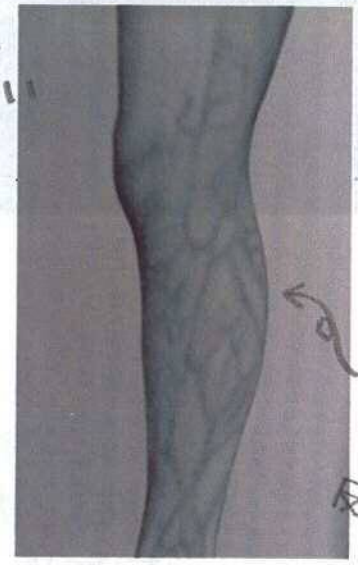


(2)硬くなる

人間の筋肉には、ATPというエネルギー源がある。死ぬとこのATPがなくなり、筋肉中のタンパク質が固まる。このことを「死後硬直」という

(3)色が変わる

死ぬと体内にある酵素がタンパク質や脂質を分解する。分解が進むとしばらくして体の変色が始まる。死後1日から2日かけて全身が暗い緑色になっていく。さらに進むと血液が血管から染み出すようになり、「腐敗網」が見えるようになる。



(4)膨張する

酵素の分解の過程で、
アンモニア水素などの気体が
発生する。このガスが体内に
充満すると全身が2・3倍に
ふくれ上がったように見える
これを「巨人様外観」という

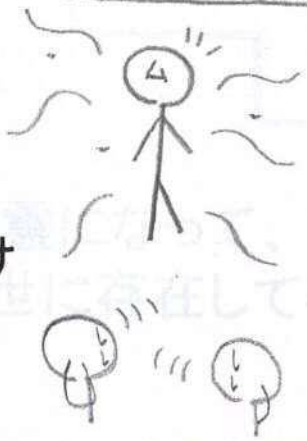
(5)死臭がする

膨張が進むと、皮膚が剥離し
体内に充満したガスが体外に
吹き出し、死体の強烈な臭い
が鼻を突く。これが「死臭」

に近い臭い

死臭の作り方

1. かつお節にしょうゆを
   かける
2. 腐らせる
3. 牛乳を注ぐ
4. 室温で1ヶ月放置



死臭は移りやすく
落ちにくい！
死臭をはなつ死体を
4時間検死したあと
満員電車にのると，
自分を中心に
半径1mほどの円形
の空間ができるとか。

(6)ハエが集る・変色する

開口部や傷口に卵が産み付け
られ、ウジ虫になる。
死体の色は青黒く変わり、
水分は蒸発していき乾燥する

(7)動物を呼び寄せる

肉食の小動物や昆虫が残って
いる肉や内臓、骨を食い運ぶ

⇩

そして何も残らなくなる。
……まあ、普通は放置せず葬式を行う。
日本は主に火葬なので，骨や灰しか残らない。
死んだあと，肉体は生きているままの姿では
残らないことがわかった。

死んだ人はどうなるのだろう

死んだらそれでおしまいなのだろうか。その後は？
自分のまわりにいる人に、考えを聞いてみた。

「死んだらみんな無になる」
ってなんかの漫画でいってた
なにもなくなっちゃうんじゃない？

悪いことを
した人は地獄
良いことをした人は
天国さ！

極楽浄土へ行くんだよ
そこで私たちを見守って
くれているんだよ

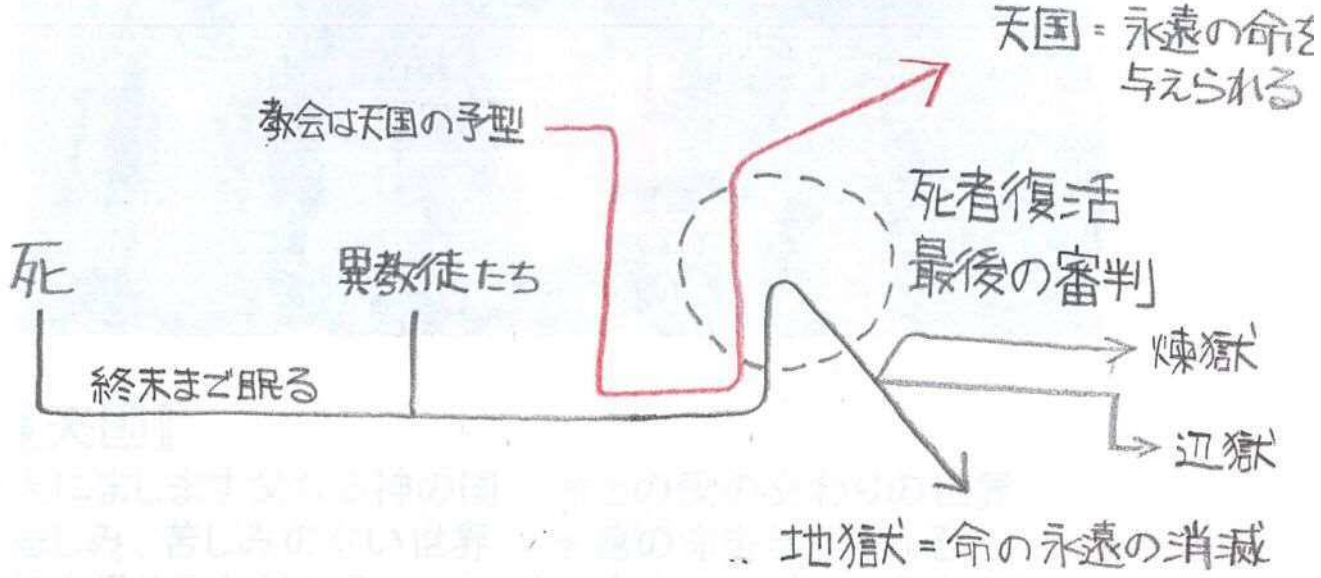
幽霊になって、
あの世に存在してる！

などの考えがでた。全ての考えを載せることはできないが、残りの意見も合わせてまとめると、

・何もない、ただただ「無」になる
・物理的な肉体は持たないけど、何かしらの方法で存在している

の二つに分かれた。下は、その人の信じている宗教やその人の過去などによって細かい違いがあった
私の考えは下と同じような考えなので、この「違い」について調べようと思う

キリスト教の死後の世界



キリスト教では、死んだ後は地下で眠り、世界の終わりに**復活**、つまり甦らされ、「最後の審判」を受けて永遠の住処が決まると考えられている。復活するためには肉体が必要であり、葬式は主に土葬が多い。最後の審判の裁きの基準は“愛”。

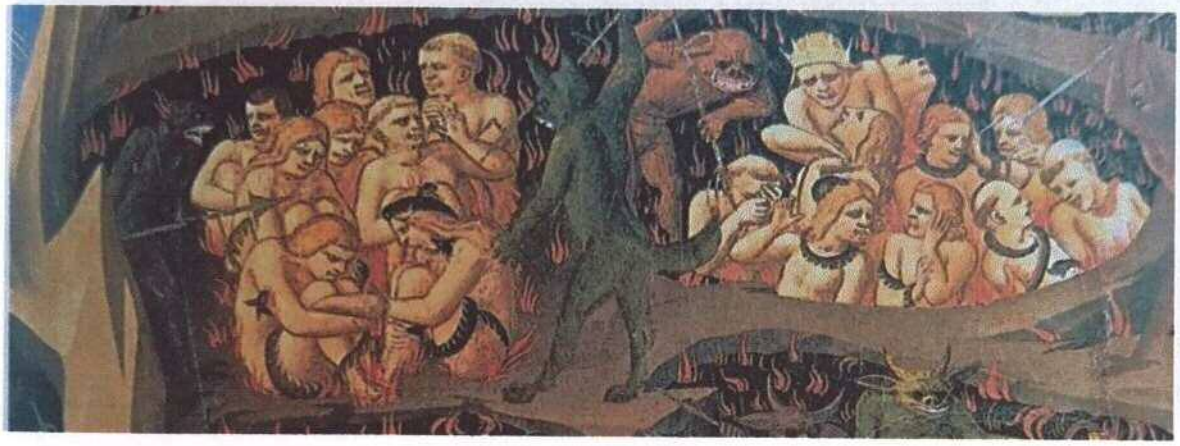
神の教えに従い、純粋な愛を生きた人は天国へ、神の教えに従わず、エゴイズムを生きた人は地獄に行くとされる。

また、天国と地獄の他にも煉獄や辺獄といった、洗礼（信者となる儀式）を受けていない子供が過ごしたり、恩寵（神の恵）のもとにあったが不完全な状態で死んでしまった人が罪をあがなう場所もある。

カトリックや東方教会など、宗派によって細かく違いはある。

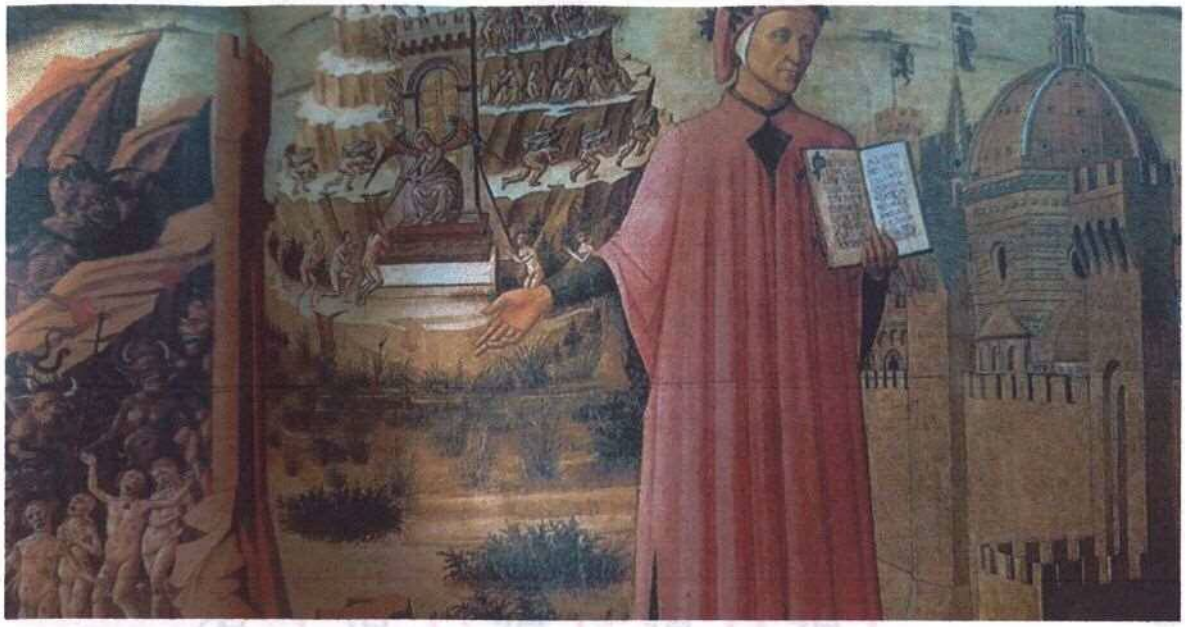
【天国】

・天にまします父なる神の国　・神との愛の交わりの世界
・悲しみ、苦しみのない世界　・永遠の命を与えられる
・神を信じる人が入る　　・実がたわわに実った果樹園
・選ばれた者を復活させる生命の木　・神への賛歌を歌う
・清廉な水、牛乳、美味な葡萄酒、蜂蜜などの川
・天使や女神、神々がいる



【地獄】

・エルサレムの地下深く　　・永遠の責め苦、絶望の場
・一度行くと戻れない　　・炎と硫黄の沼地
・悪臭ただよう荒野　　・血の池　・燃える溝
・先のとがった岩、棘だらけの小枝
・数々の拷問をうける　　・堕天使や悪魔がいる



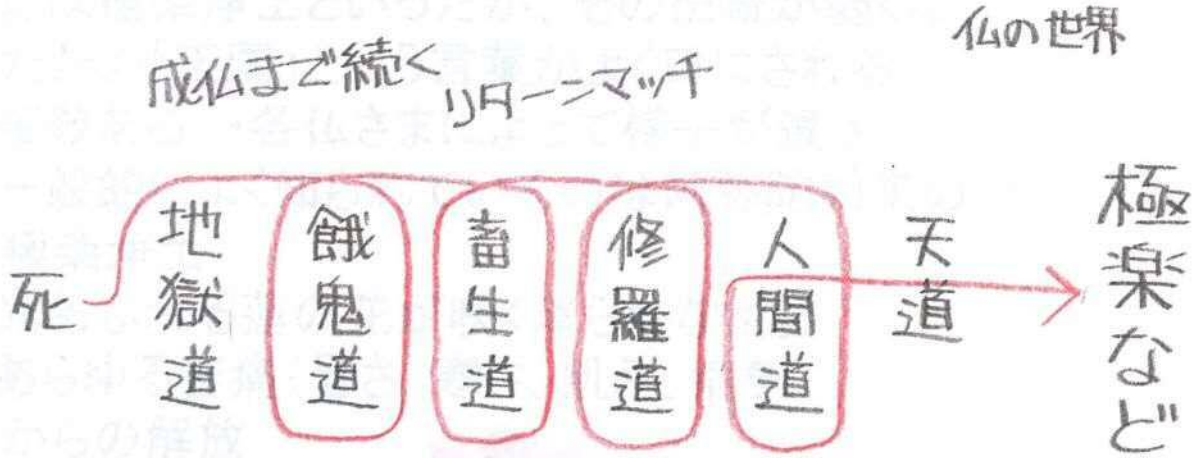
〖煉獄〗

・義者の休息の地　　・罪をあがなう場所
・地獄ほど罪は重くない　　・永遠の責め苦は免れる
・浄化の期間を過ごしたあと、魂は天国に昇天できる
・職務を持った天使がいる

〖辺獄〗

・天国と地獄の間　　・地獄の付属物だが罰は受けない
・洗礼を受けなかった死者の魂だけが住む
・未洗礼の幼児は「子供の辺獄」で幸福に暮らしている
・辺獄に降りたすべての義者の魂は完全に解放される天に昇るために最後の審判待ち
・キリスト教の圏外で生きていた有徳の者もいる

仏教の死後の世界



本来、ブッタの教えでは死後について語られていない。釈尊が亡くなったあと、死後の世界について目に見えるように語っていくようになる。

仏教では死者は修行のために生まれ変わると考えられてる。**六道輪廻**といい、地獄も天界もぐるぐる回る6つの世界の一つである。地獄に堕ちてもいつか復帰できる。肉体には特に意味はないので、葬式は火葬である。

生きている間に罪を犯すと地獄に落ち、罪の種類によってどの地獄に落ちるか分かれる

死んでから四十九日経つと他の存在に生まれ変わり、また新たな人生を歩む。

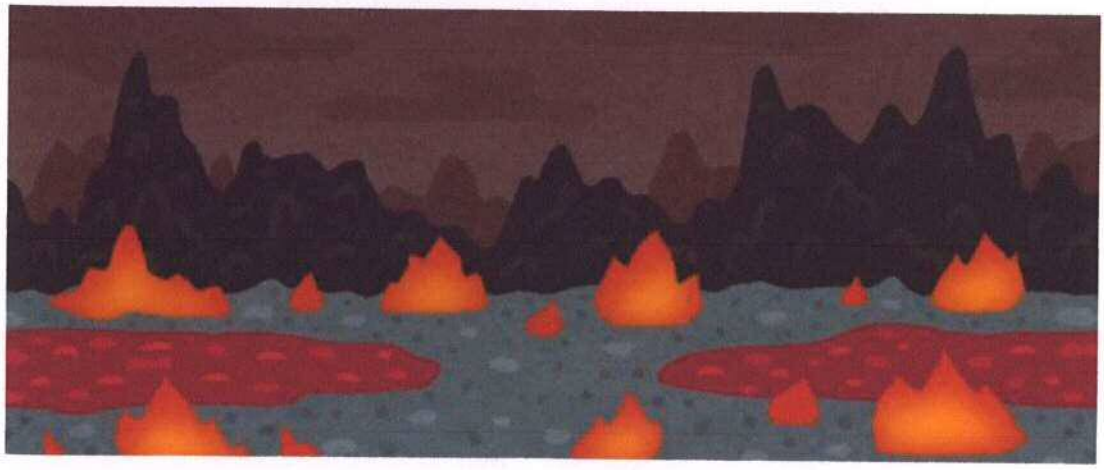
浄土宗や時宗など諸派の中では少し異なり、念仏を唱えれば誰でも極楽浄土に生まれ変わることができると考えられているところもある。

〚極楽浄土・天国・天界〛

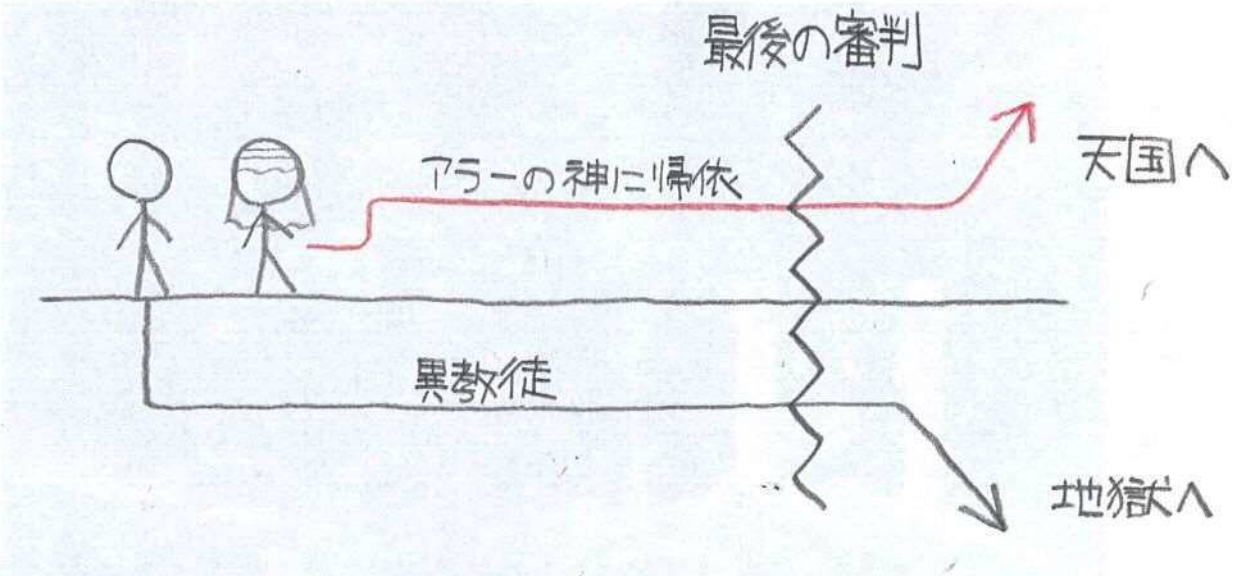
・昔は極楽浄土といったが、その伝統が弱くなったため「天国」という言葉がよく口にされる
・複数ある　・各仏さまによって様子が違う
・一般的によく知られているのは阿弥陀如来の極楽浄土
・光あふれる蓮の花が咲く清らかな世界
・あらゆる苦痛（暑さ、寒さ、飢え、病気）からの解放

〚地獄〛

・閻魔大王が支配　・罪の重さを裁かれる
・有罪であれば罰を受ける
・償いが終われば生まれ変わる
・地下約1万4400kmにある
・大きく、等活,黒縄,衆合,叫喚,大叫喚,焦熱,大焦熱,阿鼻の8つの地獄がある



イスラム教の死後の世界



イスラム教の世界観はキリスト教とほとんど同じで、死後は世界の終わりに**復活**させられ、神の裁きをうける。それまでは天国でも地獄でも無い場所におかれることになるが、各自その死に対して先に「小審判」を受け、墓の場所は天国か地獄に相当する。その後、改めて世界の終わりに「大審判」を受け、究極の住まいが決定されると考えられている。

日本の死後の世界

黄泉の国と生きている人の世界の境目の坂「黄泉比良坂」

島根県の出雲町にある

日本では古くから死後の世界は現世の延長、投影で、死んだ後は「**黄泉の国**」へ行くと考えられてきた。

黄泉の国は闇黒の世界で、幾山河を越えた彼方の暗い谷間にあり、死者は霊体で過ごす。
死者は生前の罪の軽重に応じてさまざまな苦痛を与えられる。
死者に旅人のような服装をさせるのはそのため。
また、黄泉の国のものを口にすると、生きた人でも黄泉の国の住人となるといわれているらしい。

また日本には宗教関係なく、死んだ後は共同体の中に生き続けるという考えもある。仏壇や神棚を置くのはそこに死者の魂が宿るからで、死者は生きている者を守り、祝福すると考えられている。

色々な死後の世界

・ローマ

地獄は一時的な苦しみの場と考えられる

・ユダヤ（キリスト、イスラム教はもとはこれだった）

死後はみんな「シュオル」という場所に降りる
扉や柵で閉じ込められ、過去の生活ぶりや子孫が定期的に宗教的義務を果たしているかどうかに応じてだいたい快適に過ごせる
紀元前五世紀頃に東方の宗教の影響をうけて死後に行く所が別れたと言われている

・神道

死後の世界は、霊肉解体によって生死の混沌たる〈幽冥世〉（かくりよ）とみなされる
現実の世界からは、時間的にも空間的にも達しえない、海や山の奥といった彼方で、漠然とした他界

・ヒンドゥー教

死者は魂の姿になり新しい肉体にかえるつぎの人生がよりよくなるか悪くなるかは生きていたときの行いによって変わる
功徳をつんで教えを守った者は、魂の循環からのがれ、永遠の魂をさずけられる

・古代エジプト

死んだ後の魂は危険な地下深くの冥界を延々と旅する
旅の途中には邪悪な蛇や5つ頭のトカゲなどの怪物が待ち受けている。最後に魂は42の神にむかって生前に過ちを1つも犯さなかったと告げなければならない
その後死者の心臓と羽根が天秤にかけられ、羽根とつりあえば天国に、羽根より重ければ心臓は永遠になくなる

死後の世界を見た人々

世界には事故や病気などで死にかけて死後の世界を見た人や、死者となんらかのコンタクトをとるなどして死後の世界の様子を知ることができた人がいる。

・臨死から帰還した人々

「臨死」とは、「死に直面する」こと。
以下は、臨死し死後の世界を体験した人の話を3つ選び、要約したものだ。

9歳の時、高熱を出して死にかけた。
気を失い、気が付くと暗闇の中をふわふわ浮かんでいるようで、快適な気分だった。
急に光のトンネルが現れ、トンネルの向こうは花いっぱいの野原だった。綺麗な眺めだった。
しばらくするとすぐそばに白い光がいた。光とおしゃべりをした。

4歳のころ地下室の階段から落ちた。
気が付くと天井の近くまで浮き上がり、自分を見下ろしていた。とても落ち着いて、楽な気分だった。
辺りが明るくなり、背後から光が差してきた。上の方にとても明るい光が見えた。見たこともないほどきれいだった。

9歳のころ海で溺れた。
トンネルを貫く光が見え、気が付くと美しい庭園にいた。
人生が鮮やかに蘇り、大きな人物、光の前に立っていた。
あれは神だったと思う。とても美しい場所だった。

他にもいくつか体験した人の話を調べ、ある共通点がわかった。

・死ぬと死を自覚する
・苦痛が消える
・体外離脱する
（霊体になることと同じではないか）
・トンネルに入る
・光に出会う
・人生を回想する
・戻りたくなくなる

私が調べたのはメルヴィン・モース氏の調査の結果だが、死後の世界を体験した人の話のほとんどが、穏やか、明るいといった幸せそうな感情を抱いていた。という結果が残っている

死後の世界は、天国のように幸せになれるところなのだろうか。

・3回死んだ男　ダニオン・ブリンクリー

アメリカ人のダニオンさんは、なんと3回も
臨死体験をしたことがあるそうだ。
1回目は電話中に家のそばに雷が落ち、
電話線を通して感電し焼け焦げになり、
心臓が止まった。
死後の世界は何の苦痛も不快感も感じず、
ブルーグレイに輝くトンネルをくぐり、
とてもまぶしく明るい光と一体化したらしい。
その後、「パノラマ人生レビュー」を見せられ、
きらびやかな「光の都」のなかの、水晶でできた
都市の1つに着く。
天国は、そこにある巨大な光の殿堂だったらしい。
それから2回も死後の世界を見てきたダニオンさん。
ダニオンさんは、死後の世界の様子について
こう語っている。

「天国にはいくつかのレベルがある」
「いちばん下のレベルでも、『地獄』ではない」
「それ（天国のレベル）をきめるのは
　『今現在、この世に生きている』皆さん自身」

・霊と対話した人々

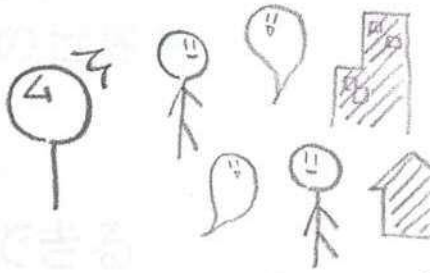
世界には、団体をつくって「交霊会」を行い
霊と対話する人や、夢のなか、あるいは何も
介さないで霊と話せる人がいる。
私が調べたのは、フランスで霊的現象を伴う
精神運動の中心人物となった、アラン・カル
デック氏と、スピリチュアリストの江原啓之
さんの著書だ。

・死後の世界は現実そのもの

パリ霊実在主義教会を創立し、数々の死者の霊
と交霊したアラン氏は、死後の世界についてこう
語っている。

現実とはつまり…

「死後の世界は現実そのものであって、
見ようと思えば常に見ることができる。」



こういうこと

死後の世界は良識、神の偉大さ、善意、正義とも
矛盾しないものであるという。また、彼と対話した
霊たちは、

つまり肉体は
もたない

「燦然たる強烈な光が輝く」
「滔々と流れる慈しみの大河のように、魂全体に
絶えず浸透する、筆舌に尽くしがたい幸福感」

天国？

などと述べている。

またアラン氏は、死後の世界では霊たちは

・それぞれの境涯に応じて忙しく活動
・「至高の主からどれだけ信頼されているか」
　で能力や仕事が与えられる
・それぞれの階層に応じた幸福に満たされる

という。
死後の世界でも現実と変わらず、働いたり飲食したり
するようだ。

日本人が仏だんに
おそなえするのと
同じ考え？

ゆげを
食べるとい
アレ

・あの世は奥深く広い世界

日本スピリチュアリズム協会の代表理事を務める
江原啓之さんは、霊を見ることができ、これまで
「あの世のこと」を伝えてきた第一人者だそう。
「あの世」は日本で多く使われている死後の世界を
さす言葉だ。江原さんは、

・あの世とこの世は睡眠中に行き来できる
・あの世で自分の最期を見る
・あの世は上下に分かれている
　下…死んだとは思えないような俗っぽい所
　　生々しい感情を持った人たちが行く
　上…俗っぽいものを捨て去ったひとが上がる
　　明るい光になるような感じになる
　　浄化していく
と述べている。

ダニオンさんと同じ
レベルわけ？

また、あの世にも学校のようなところがあり、
そこであの世のことについて学んだりするとか。
あの世ではこのようなこの世と似ているところを
旅をしながら過ごすらしい。
地獄はないが、地獄と呼べるようなところはあるよう。
あの世は心象風景の世界らしく、地獄のような心で
生きていれば地獄のような世界になる。また、
アカシックレコードで人生を振り返るので
恥ずかしくて似たような気持にはなるかもとのこと

これは
アラニさんと
似ている
「下」の世界に
あるのか？

ダニオンさんの
「レベル」についてと
同じ！地獄なし

霊とコンタクトをとることで知識を得ている人々が
語る死後の世界にはいくつか共通点があることがわかった。

・現実の世界と似ている

建造物、言語、仕事をしたり飲食できる。
現実の世界の延長なのだろうか

・現実の世界の様子を見ることができる

霊媒を使って会話したり、夢を通して会うことも
できるらしい

・国や宗教によって様々

信じている宗教や国が違うと、死後の世界の様子
が違うのかもしれない

江原さんは
「温泉」なども
あると
言っていた。

これは
ダニオンさんが
見た死後の世界
にはあるのだろうか

まとめ

これまで調べてきたことをまとめて、
人は死んだ後どうなるのか考えた。

・死んだ後は体の全機能が停止するので、
死んだ後の体は時間がたつにつれ、
死斑ができる
↓
死後硬直がおこる
↓
暗い緑色になっていく
↓
膨張する
↓
死臭がする

と変化していき、最後は他の生き物の糧となる。

自然にかえる

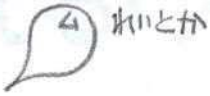
・ほとんどは死んだ後に葬式を行うので、
肉体は生きているままの姿では残らない

実は、ある特定の環境化では、
死体は長時間変化しなくなる。
このような死体は「永久死体」
といい、ミイラや屍ろうなどがこれ。
しかし、いくら変化しないとはいえ、
心臓は止まっているので、
生きていた時のままの姿では残せない

あとづけで
すみません。

ム

・死んだ後は、何かしらの方法で存在が続くと考えられる



・物理的な肉体とは別の「魂」「霊」といった姿で過すか、復活して肉体をもって過ごす

・死んだ後は人にによって考えは異なるが「死後の世界」で過ごす

・あらゆる宗教では、死後に「天国」「地獄」があることを認めていて、どうすれば地獄に堕ち、天国に行けるのか、それぞれどんな様子なのか、行くとどうなるのかは、それぞれ異なった見解を持っている

・宗教関係なく、死んだ後は皆天国に行くという考えも多い

・死後の世界について、死んだ人とコンタクトうをとって知識を得た人がいることから、死後も何かしら生きている人と繋がることができると考えられる

・死後の世界は今生きている世界の延長で、生きているときと同じように、飲食をしたり働いたりするという考えもある

私の考える「人が死んだ後」

調べたことをふまえて、私は「人が死んだ後」は次のようになるのではないかと考える。

・「死んだ後」は「精神」だけが残り、自分の思い描くことをすることが出来る夢みたいなもの

私自身は死んだ人と対話できるわけでも、死後の世界をみたわけでもない。しかし、死者と対話することが出来た人や、死後の世界を体験してきたと語る人の証言が、すべて嘘だとは思えない。また、各宗教で信じられている死後の世界が、全て単なる作り話だとも思えない。
私は、これらは全て正しいのではないかと考えた。
死んだ後は肉体を生前のままにすることはできない。だから「魂」や「霊体」というような別の姿になって存在が続いているのではないか。
生前の行いは人によって違う。死んだ後にすることも人によって違うのではないか。
記録に残っている死者の話や、死後の世界を体験した人の話には共通点がある。しかし、細部や、それをどうとらえたかは人によって違う。つまり、その人の性格や行いなどによって、死んだ後の世界は左右されているのではないか。
何故人によって死後の世界の様子が違うのか。それは死後の世界が、その人の思い描く姿になるからではないか。

スピリチュアリストの江原さんの話で、
「あの世とこの世は睡眠中に行き来できる」とあったが、それはあの世、つまり死後の世界が「夢」と同じようなものだからではないか。
夢は自分が知らないところで思っていることや、気になっている人がでてくることがあると聞いたことがある。
死後の世界でキリストに会ったとか、死んだ誰々と会ったという話があるのは、そういったわけなのだと思う。
また、天国や地獄に分かれていたり、審判を受けるといった話があるのは、現実の世界では、必ずしも良いことをした人が幸福になり、悪いことをした人が不幸になる、罰を受けるという仕組みにはなっていない。それが嫌で、報われたい、幸せになりたいと考えた人が、臨死などを体験したときに自分の思い描いている風景を見て、死後の世界では生前の行いの良し悪しでその人の過ごす場所が変わるのだと考えたことがきっかけではないだろうか。

と、小さな文字でなんだかんだ考えを語ったが、
ないかないかばかりで、結局、人が死んだ後はどうなるのかや死んだ後の世界などについては様々な説があり、どれが真実なのかはわからなかった。
実際に自分が死んでみないと、本当のことはわからないのだろう。
調べても結局どうなんだろう？と少しもやもやしているが、自分なりに考え、仮説をたてることができたのでよかった。
今回の調べを通して、各宗教や物語など、世界には様々な「人が死んだ後の世界」についての考えがあることがわかった。どれが本当のことなのかはまだわからないが、もっと色々な考えを知りたいと思った。

そして自分が死んだとき、真相を知るのがとても楽しみだ！

参考・引用文献

「死後の世界」を知れば、人生が輝き始める
著者　ダニオン・ブリンクリー
越山雅代
発行所　KKロングセラーズ
発行日　平成27年4月1日 初版発行

3回も死んだという
あのんが書いてます！
読みやすいです！

アラン・カルデックの「霊との対話」天国と地獄
著者　アラン・カルデック
訳者　浅岡夢二
発行所　幸福の科学出版株式会社
発行日　2006年2月7日 初版第1刷発行

たくさんの霊との会話が
載ってます！興味深い！

この世じまいの“地図”を手にすればもう迷わない！『あの世の歩き方』
著者　江原啓之
発行所　株式会社　小学館
発行日　2021年11月9日 初版第1刷発行

死後の世界で何をすれば
よいのか，終活の仕方
などが書いてます！

臨死からの帰還　死後の世界を体験した400人の証言
著者　メルヴィン・モース
ポール・ペリー
訳者　木原悦子
発行所　株式会社　徳間書店
発行日　1993年8月31日 初版

死後の世界をみた人の
話がたくさん！
けがの話は痛々しいです

死について考える本
作者　メリー＝エレン・ウィルコックス
訳者　おおつかのりこ
発行所　株式会社あかね書房
発行日　2020年9月20日 初版発行

絵本のように
スラスラよめます！
読みやすく
わかりやすい！

ナレッジエンタ読本7死体入門！
著者　藤井　司
発行所　株式会社メディアファクトリー
発行日　2008年3月31日 初版第1刷発行

写真は怖いけど
おもしろい！豆知識(?)
もいっぱい！

キリスト教における死と葬儀
現代の日本的霊性との出逢い
著者　石　居　基　夫
発行所　キリスト新聞社
発行日　2016年6月25日 第1版第1刷発行

写真つきでくわしく
説明してあります！
キリスト教×日本！

神の発見
著者　五木寛之
対話者　森　一弘
発行所　株式会社平凡社
発行日　2005年8月10日 初版第1刷発行

五木さんと森さんの
対話がそのまま載って
ます！まとめもついていて
わかりやすい！

ヴィジュアル版天国と地獄の百科 天使 悪魔 幻視者
著者　ジョルダーノ・ベルティ
訳者　竹山博英・柱本元彦
発行所　株式会社原書房
発行日　2001年4月10日 第1版

絵がタクさんので
ながめながらでも
内容が頭に
入ります！

生きる勇気、死ぬ元気
著者　五木寛之
　　帯津良一
発行所　株式会社平凡社
発行日　2009年5月25日 初版第1刷発行

またまた五木さん！
これも対話です！
「生きる勇気」という課が好き

日本人の死生観
著者　五来　重
発行所　株式会社角川書店
発行日　平成6年6月30日 初版発行

たしかに！と共感しながら
読めます！知ってることを
みつけるのが楽しい

仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか〈増補改訂版〉

大法輪閣編集部編
発行所　有限会社　大法輪閣
発行日　平成11年8月10日 増補改訂版
第1刷

4つの宗教の違いがわかりやすい！横読みです！

超図解 一番わかりやすいキリスト教入門

著者　インフォビジュアル研究所
発行所　東洋経済新報社
発行日　2016年11月10日

この中では1番読みやすかったです！図もこの本を参考にしました！

妖怪マンガで楽しい古典 全5巻 (五)死後の世界の巻

監修　小松和彦
発行所　株式会社 学研プラス
発行日　2016年2月23日 初版発行

マンガです！最後の落語がオススメ！

こわいけど知りたい！地獄大図鑑
ようこそ、死後の世界へ

監修者　鷹巣純
発行所　株式会社PHP研究所
発行日　2013年8月19日 第1版第1刷発行

イラストが怖すぎて1人で読むのはむずかしいかもしれないです！

☆

新しい社会 歴史

著作者　矢ケ崎典隆，坂上康俊，谷口将紀
ほか107名
発行所　東京書籍株式会社
発行日　令和3年2月10日

私の歴史の教科書です！

☆
学習国語新辞典 全訂第二版（B6判）
編者　金田一京助
発行所　株式会社　小学館
発行日　2017年1月15日 第13刷発行

☆
チャレンジ小学国語辞典カラー版第二版
監修者　桑原隆
発行所　株式会社ベネッセコーポレーション
発行日　2020年1月 カラー版第二版発行

☆
新明解国語辞典 第四版
編者　金田一京助他
発行所　株式会社三省堂
発行日　1993年11月10日 第18刷発行

死因事典一（のばし）人はどのように死んでいくのか
著者　東嶋和子
発行所　講談社
発行日　2000年11月20日

少し古いですが、
人がどのように
死んでいくのか、
おもしろく、分かり
やすくかかれてます

☆印をのぞいた全ての本は、
北海道恵庭市市立図書館で借りたものです。

読んでいただき
ありがとうございました